

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 保育行政について	保育行政の推進については、これまでも保育士の確保や働きやすい職場環境づくりなど取り上げてきました。安心・安全そして安定的な保育所運営が望まれます。そこで伺います。 (1) 全国的にも保育士の確保は課題ですが、本町でも同様の現状と捉え、取組の強化が求められます。保育士不足はさまざまな問題が発生する要因になります。その一例としては、待機児童の増加、一人当たりがこなす仕事量の多さ、目の行き届かない安全管理などです。そこで「会計年度任用職員の処遇改善」なども含めてあらゆる策を講じて確保していく必要があります。今後の保育士確保への取組強化について見解を伺います。 (2) 保育の質を保つ上で、保育士の他にも「子育て支援員」の活用も重要です。OG等の協力もさることながら、教育や子育てに関連する民間団体を巻き込みながら、地域全体で育む公民連携を推進していくべきでは。 (質問の相手：町長・担当課長)

質 問 者 隅 田 翔

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 廃校となった公共施設の利活用について	平地の少ない本町において、廃校となった公共施設の利活用は地域の活性化や機能維持の観点でも重要になります。全国的にも学校の統廃合も進み、利活用については病院・企業誘致・新たな学校などさまざまな形で進められています。そこで伺います。
	(1) 旧女川小学校、旧第三小学校、旧御前分校の3施設について、女川町学校施設活用に係るサウンディング型市場調査が実施されています。
	現在の進捗状況と今後の見通しは。
	(2) 今回の旧女川小学校のサウンディング型市場調査が売却等に至らなかった場合に、町長の施政方針でも述べられていた地域医療センターの移転先として検討を進めては。
	(質問の相手：町長・担当課長)